

2023年6月20日

原子力発電所の使用済燃料貯蔵容器の製造・販売事業を買収 ～ 当社子会社 NAC International が、カナダ NIAGARA より ～

日立造船株式会社の100%子会社で、原子力発電所の使用済燃料や放射性廃棄物の輸送・貯蔵容器の設計、輸送、管理など、総合的なサービスを提供する NAC International Inc.（米国ジョージア州、以下「NAC」）が、このほど、100%子会社となる NIAGARA ENERGY PRODUCTS, Inc.をカナダ オンタリオ州に設立し、同社を通じて NIAGARA ENERGY PRODUCTS（オンタリオ州、以下「NEP」）から、使用済燃料や放射性廃棄物の乾式貯蔵容器の製造・販売事業を買収しましたのでお知らせします。

カナダでは、脱炭素の観点からも原子力発電を重要電源として位置付けており、次世代炉である小型モジュール炉（SMR：Small Modular Reactor）の導入に向けた技術開発も積極的に行われています。また、オンタリオ州にはカナダの4つの原子力発電所（21炉）の内、3つ（20炉）があり、乾式貯蔵容器の需要が今後も継続的に発生することが見込まれています。

NEPは、1980年代から高レベル放射性廃棄物の乾式貯蔵容器製造に携わり、これまでに3,000基以上の乾式貯蔵容器をカナダの原子力発電所に納めています。

当社は1978年に国産初となる使用済燃料の輸送容器を製造して以降、国内外に数多くの輸送・貯蔵容器を納入してきましたが、NACによるこの度の事業買収を全面的にサポートし、グループ一体となって北米および日本からの製品供給体制を構築してまいります。また、国内では、2022年10月に東京電力ホールディングスと合併で、福島県で廃炉に必要な様々な機器の製造を行う東双みらい製造株式会社を設立するなど、国内外における放射性廃棄物用容器のNo.1サプライヤーを目指してまいります。

なお、新会社の概要は次のとおりです。

1. 社名：NIAGARA ENERGY PRODUCTS, Inc. ※ 買収元の社名には「,Inc」がつきません
2. 株主：NAC International Inc. 100%（当社100%間接子会社）
3. 代表者：Tony Morris, President
4. 所在地：カナダ オンタリオ州 ナイアガラフォールズ
5. 従業員数：約90名
6. 事業内容：放射性廃棄物乾式貯蔵容器の製造・販売など
7. 製造拠点：ナイアガラ工場、フォート・エリー工場、ブラントフォード工場
（いずれもオンタリオ州）

(ご参考) NAC International Inc.について

1. 設 立 : 1968 年 (2013 年 日立造船グループに)
2. 株 主 : 日立造船 100%
3. 代 表 者 : Kent S. Cole, President and Chief Executive Officer
4. 所 在 地 : 米国ジョージア州ピーチツリー コーナーズ
5. 従業員数 : 102 名
6. 事業内容 : 原子力発電所使用済燃料や放射性廃棄物の輸送・貯蔵用機器に関わる設計、輸送、管理業務など

(終)